

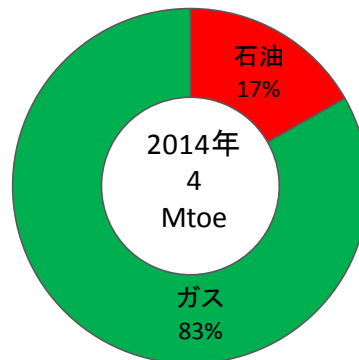
1-13 ブルネイ

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 4 百万 toe (日本の 0.01 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 8.52toe (日本の 2.45 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 457%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 6.7 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 16.06CO₂ 換算 ton (日本の 172%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 23.8 年、天然ガス 21.7 年

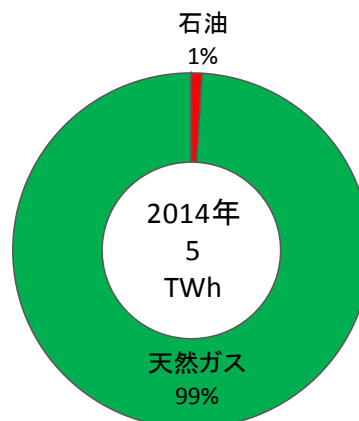
一次エネルギー供給構成 (2014 年)



Country: Brunei

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



Country: Brunei

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 首相府内に設置されたエネルギー産業省 (Energy & Industry Department) が、エネルギー政策を担っている。エネルギー産業相は、Pehin Dato Mohammad Yasmin Umar 氏。

(2) 基本政策

- エネルギー資源の長期にわたる安定した生産と輸出の維持を目指し、石油・ガスの追加増産は行わず、新たな資源発見により埋蔵量を追加し、現行確認埋蔵量を維持し続けるという「資源温存」を基本としている。
- ブルネイエネルギー省が公開した「Energy White Paper」によると、石油とガスの上流・下流事業を 2035 年までにエネルギーサービス事業、電力や再生可能エネルギー等のエネルギー関連事業まで拡大し、収益増大を図る計画である。
 - (1) 石油、ガスの上流・下流事業の強化
 - (2) エネルギーの安全かつ高効率な供給と消費の確保
 - (3) エネルギー産業からの経済波及を最大にする

(3) 最近の動向

- 2013 年 3 月、中国の民間企業である浙江恒逸の石油精製・石油化学プラント建設プロジェクト (PMB プロジェクト) がブルネイ開発省の最終承認を受けた。生産した石油製品の一部はブルネイの国内市場向け、大部分は中国へ輸出されるとみられる。
- 政府は石油・ガスに依存する経済構造からの脱却を図る為、工業開発 (メタノール工場や肥料工場などの誘致) や観光開発を進めている。
- 2035 年までに 35 億バレルの生産を行うことを目標に 2016 年初から洋上鉱区の開発に関する入札を行っている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015 年度の日本のブルネイからの輸入実績は、LNG が日本の輸入量全体の 4.9%にあたる 407 万 ton、原油が日本の輸入量全体の 0.1%にあたる 270 千 kl であった。
- 東京電力、東京ガス、大阪ガスの 3 社は、2013 年 3 月末で契約満了となるブルネイ LNG プロジェクトについて、LNG 売買契約延長に関する基本合意書を締結した。2013 年 4 月から 10 年間にわたって、同プロジェクトから、約 340 万 ton/y の LNG を購入する。
- 鉱物資源の主な輸出先は、原油が韓国、オーストラリア、インドであり、LNG が日本、韓国である。2012 年までは LNG 輸出先の 90%以上が日本の長期契約で占められていたが、供給先分散を目的とし、2013 年の契約更改で日本向けは 40%程度減少している。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Brunei Darussalam

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		4 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		8.52 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.29 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		457 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		6.7 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		16.06 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	17 %
	天然ガス	17 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-357 %
(9) 石油の輸入依存度		-966 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA